

## 令和4事業年度 公立大学法人新潟県立大学の業務実績に関する評価結果の概要

- 1 全体評価：中期計画の進捗は『順調』である
- 2 大項目評価結果

大項目			R4評価	参考 (R3評価)
教育・研究の質向上	1 教育	(1) 教育の内容 (2) 教育の実施体制 (3) 学生への支援	A 順調	A 順調
	2 研究	(1) 研究水準・成果 (2) 研究の実施体制	B 概ね順調	B 概ね順調
	3 地域貢献・国際化	(1) 教育研究等における地域・社会との連携・協力 (2) 産学官連携 (3) 国際化	A 順調	A 順調
4	業務運営の改善・効率化	1 運営体制の改善 2 人事の適正化 3 事務の効率化・合理化	B 概ね順調	B 概ね順調
5	財務内容の改善	1 外部研究資金等収入の増加 2 経費の節減 3 資産の運用管理の改善	B 概ね順調	B 概ね順調
6	自己点検・評価等の実施、評価結果の活用	1 自己点検・評価等の実施、評価結果の活用 2 情報提供	B 概ね順調	B 概ね順調
7	その他 業務運営	1 コンプライアンスの推進 2 施設の効率的整備 3 安全管理 4 情報管理 5 人権 6 環境保全	B 概ね順調	B 概ね順調

### 3 特筆すべき取組や顕著な成果

- ・ 社会福祉士国家試験の合格率の順位が福祉系大学等 205 校中 4 位
- ・ 管理栄養士国家試験において高い合格率（97.4%）を維持
- ・ データサイエンス教育に関する取組（UNP DS リテラシー教育プログラム）が文部科学省の認定プログラム（リテラシーレベル）に認定された。  
また、上記認定を受けて、データサイエンス教育センターを設置し、プログラム運営やコーディネートその他関連業務を行う体制を構築した。
- ・ 論文の被引用件数が目標値を大きく上回り、特に健康栄養学分野が多くを占めた。  
（目標 14 件 → 実績 39 件）
- ・ 令和5年4月に北東アジア研究所及び大学院健康栄養学研究科を設置するために必要な諸準備を実施

### 4 課題・改善点

- ・ 国際地域学部における卒業時の英語能力が目標を下回っている。  
（到達者の割合（国際地域学部）：目標 50% → 実績 17.9%）
- ・ 科学研究費補助金等の出願比率、論文数が目標を下回っている。  
（出願比率：目標 40% → 26.2%、論文数：目標 154 編 → 実績 91 編）
- ・ 査読付き論文数が目標を下回っている  
（目標 86 編 → 実績 47 編）
- ・ 公開講座聴講者数が目標を下回っている  
（目標 1,350 人 → 実績 525 人）

※評価結果の詳細は、新潟県ホームページをご覧ください。

（<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/daigaku/r4hyokakekka.html>）